

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年7月31日

（報告先）
横浜市長

住所 神奈川県川崎市高津区久地4-10-11

氏名 株式会社光洲産業
代表取締役 光田栄吉

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社光洲産業 代表取締役 光田栄吉				
事業者の主たる 事業所の所在地	神奈川県川崎市高津区久地4-10-11				
主たる事業の業種	大分類	R サービス業（他に分類されないもの）			
	中分類	88 廃棄物処理業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	3,240	kl	自動車の台数	台

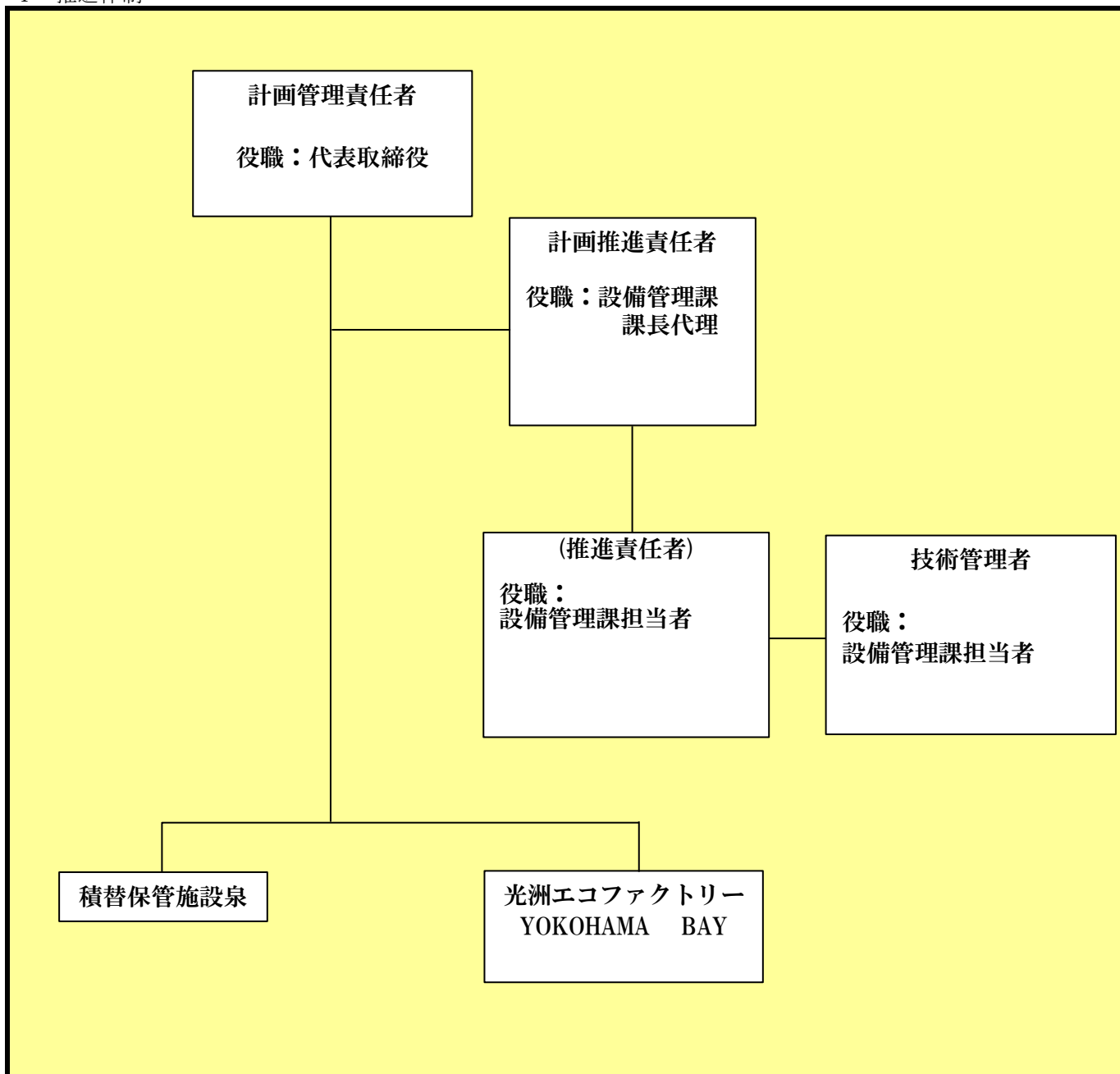
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <p>1. 当社中間処理工場の立地条件を踏まえ、地球環境に与える影響を低減するため施設の改善及び従業員の教育訓練に努めます。</p> <p>2. 当社処理業務が地球環境に悪影響を及ぼすことのないよう環境管理を徹底します。</p> <p>3. 廃棄物処理業者として適正処理に徹し、減量リサイクル率の向上・最終処分場量の低減を図り、汚染の予防に努めます。</p> <p>4. 環境法規制等及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。</p> <p>上記の環境方針に基づき省エネ活動に取り組む。また、各設備の運用改善を行いつつ費用対効果の高いものから省エネ対策を計画・実施する。</p> <p>平成28年度、29年度 : 工場照明のLED化を推進（継続） 平成28年度、29年度、30年度 : トップランナー変圧器への更新（交換が必要となったものから順次更新）</p>

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	光洲エコファクトリー YOKOHAMA BAY
	所在地	横浜市神奈川区恵比須町5-12
	閲覧可能時間	10:00～17:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	6,496	t-CO ₂			基準原単位	17.62	t-CO ₂ / 千m ³
	調整後	6,328	t-CO ₂			目標原単位	17.09	t-CO ₂ / 千m ³
目標年度 (2018年度)	目標排出量	6,301	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率	3.0 %	
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	<p>継続的に省エネ活動を行うと同時に省エネ機器を導入する際はエネルギー消費量・経済性を十分に考慮する。照明に関しては高効率照明への更新を行い、その他の機器に対しても省エネ型への更新の検討をする。</p> <p>計画期間中に処理設備が増設し、また現状、重機の稼働率が高い為に電力削減の余地が少ない。 よってCO₂排出量における目標設定が難しい為、原単位による目標設定を行った。</p>							
事業者全体としての 目標等								
第一年度 (2016年度)	排出量	6,783	t-CO ₂	削減率	▲ 4.4 %	排出原単位	16.35	t-CO ₂ / 千m ³
	調整後	6,556	t-CO ₂	削減率	▲ 3.6 %		削減率	7.2 %
目標等の達成状況 及び説明	光洲エコファクトリーYOKOHAMABAYにて、稼働設備を増やしたためにエネルギー使用量は増加したが、処理量が増えたため原単位は減少となった。							
第二年度 (2017年度)	排出量	6,906	t-CO ₂	削減率	▲ 6.3 %	排出原単位	16.40	t-CO ₂ / 千m ³
	調整後	6,489	t-CO ₂	削減率	▲ 2.6 %		削減率	6.9 %
目標等の達成状況 及び説明	光洲エコファクトリーYOKOHAMABAYにて、稼働設備を増やしたためにエネルギー使用量は増加したが、処理量増加につながる設備ではないため原単位の減少にはつながらなかった。							
第三年度 (2018年度)	排出量	6,854	t-CO ₂	削減率	▲ 5.5 %	排出原単位	16.37	t-CO ₂ / 千m ³
	調整後	6,307	t-CO ₂	削減率	0.3 %		削減率	7.1 %
目標等の達成状況 及び説明	光洲エコファクトリーYOKOHAMABAYにて、稼働設備を増やしたためにエネルギー使用量は増加したが、品質向上のための設備稼働が増加したため原単位の減少にはつながらなかった。							
計画期間全体の排出 状況に関する説明	光洲エコファクトリーYOKOHAMABAYにて、製品品質向上のため稼働設備を増やしたのでエネルギー使用量が増加した。第一年度は照明のLED化の効果で原単位は削減できたが、第二年度～第三年度は品質向上のための設備稼働が増加したため原単位の減少にはつながらなかった。							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上			1	6,515	1	6,641	1	6,622
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	6,234						
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	1	262	1	268	1	265	1	232
合計	2	6,496	2	6,783	2	6,906	2	6,854

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	1/2	—	2018年度		実施中	1/2	—	2018年度		実施中	1/2	—	2018年度		光洲エコファクトリー YOKOHAMA BAYのみ実施	
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	1/2	—	2018年度		実施中	1/2	—	2018年度		実施中	1/2	—	2018年度		光洲エコファクトリー YOKOHAMA BAYのみ実施	
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施中	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	空気環境測定義務なし		非該当	/	—	年度	空気環境測定義務なし		非該当	/	—	年度	空気環境測定義務なし
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	PACの業務用空調機のため		非該当	/	—	年度	PACの業務用空調機のため		非該当	/	—	年度	PACの業務用空調機のため
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	1/2	—	2018年度		実施中	1/2	—	2018年度		実施中	1/2	—	2018年度		光洲エコファクトリー YOKOHAMA BAYのみ実施	
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	該当事業所無し		非該当	/	—	年度	該当事業所無し		非該当	/	—	年度	該当事業所無し
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	1/2	—	2018年度		実施中	1/2	—	2018年度		実施中	1/2	—	2018年度		各工場照明のLED化を実施（一部未実施エリアあり）	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施中	実施中	1/2	—	2018年度		実施中	1/2	—	2018年度		実施中	1/2	—	2018年度		光洲エコファクトリー YOKOHAMA BAYのみ実施。もう1事業所においては、ルール整備完了までは至らなかった。	
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当機器無し
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施中	実施済	(設備の種類) コンプレッサー 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類) コンプレッサー 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類) コンプレッサー 2/2	—	年度		4号機とエアバージ用のみ稼働し、対策を実施済。その他は停止中。	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施中	実施済	(設備の種類) コンプレッサー 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類) コンプレッサー 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類) コンプレッサー 2/2	—	年度		稼働中のコンプレッサー2台の吸気温度管理を実施。	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		%													
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
														千円	
														千円	
														千円	
														千円	
														千円	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	太陽光発電設備	2014年度	200kW	全量売電 235.281千kWh
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	467	東電EP
2	再エネの利用	2018年度	「光洲エコファクトリーYOKOHAMA BAY」から排出される排出量の一部	80	太陽光発電
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	特になし
第二年度実績	
第三年度実績	省エネルギーセンターの省エネ診断を受診

14 実施状況等に対する自己評価

設備の増設により目標達成はできなかったため、省エネルギーセンターの省エネ診断を受診した。診断結果を参考にして、管理標準の充実を図り継続的な省エネ活動に向けて、使用状況や管理状況のPDCA管理を図って引き続き、省エネ活動推進に向けて取り組んでいきたい。